



ナイロンコードでの除草

小郡みんな食堂のスタッフと草刈り交流

農業の持つ多面的機能を発揮するための活動指針では、地域内の団体との連携にとどまらず、他の地域、他の活動領域とも連携を勧めています。実際に中国四国地区のシンポジウムで紹介された活動団体の多くは、多方面に渡る交流活動を展開しております。この度個人的な活動のつながりから

小郡地域で活動しておられる「小郡みんな食堂」のみなさんと知り合うことができました。

体験刈り草の夏の真実で備えな大きな大々少々
開いている「こども食堂」は4団体あります。小郡みんな食堂は小郡ふれあいセンターを会場に親子の支援をしております。事務局の柿沼瑞穂さんは「私たちは食物を扱うけれど、それを生産する現場を知らない。そうした経験はできな

いものか」と話されました。

また、小郡みんな食堂の運営スタッフ自身が農業の体験をしたいということで、農家の仕事「夏の草刈り」の体験を実施しました。

刈り払い機の安全な使い方、草刈りの基本動作を指導した後に、平場の草刈り、農道（アスファルト舗装）の除草を体験してもらいました。

またこどもたちが農作業のお手伝いをして、収穫したものでこどもたちと

緊急用の揚水ポンプを現場に配置

先月来お伝えしている浸水対策ですが、工事は計画より少し遅れそうだというところもお伝えしました。

夏の豪雨に対応できないかも知れないというところで、大型の水中ポンプが用意されることが決まりました。



フル稼働では1分間に16トンの揚水能力

しかし、設置の事業者の敷地にはあるものの、水路には何も用意されていません。それで市の担当課にお願いして、設置に時間のかかるポンプだけは、平時から置いてもらうようお願いしました。使わないで済むことが一番です。

夏の除草管理作業

夏の草刈り、本当に厳しいです。雑草の中には、いろいろな虫や生き物も居ますからね。



水路畔を歩いて作業

一緒に食べて楽しむ「おむすびランチ」ができないかという提案をいただき、今その計画を作成中です。その折には多くの人のお力添えが必要です。どうか協力ください。

「八方原」チームワークで優勝



相手の攻撃を防ぐ八方原の「壁」(小郡中学校体育館)

7月6日、小郡地域混合ソフトバレーボール大会が行なわれました。八方原チームはBブロックに出場しました。
このブロックは6チームなので、3チームずつの2グループに分かれ予選リーグを行いました。八方原チームは東津上と柳井田の2チームと対戦しました。絶妙なサーブ、相手の攻撃を阻むブロック、とても見事な戦いぶりでした。

この2試合1セットも奪われないまま2勝して、決勝戦に進みました。決勝戦の相手はオープン参加の経験者や社会教育の関係者の特別チーム、この試合は接戦となりました。しかし劣勢から徐々に挽回してフルセットに持ち込みました。

両チームとも暑さと連戦で疲れてきました。そこから八方原チームの底力を発揮、最後は一気に押し切り、ついにブロック優勝を勝ち取りました。このチームは石綿さんを中心に、練



賞状を持つ自治会長を囲んで

習を重ねて来ています。チーム内の連絡用のライングループも運用してあります。練習の結果が如実に出ました。汗を流したあとの公民館

での大会慰労会、大会優勝の慰労会は何年ぶりでしょうか。勝っても負けてもそれはスポーツの結果というだけ、それよりみんなの笑顔が最高の栄冠。

夏の墓地除草清掃作業



移動された墓などで空いた土地がある旧墓地

1年に一度一齐に行う墓地の草刈りが7月13日に行われました。個人の墓地以外の共用部分、通路などの除草清掃が主なものです。新墓地は周りを森に囲まれているので、その樹木の管理が必要になります。場合によっては個人の山の樹木ということもありますから、許可が必要な場合もあります。

旧墓地は墓地と墓地との間に使われない土地があり、その面積がかなりの広さになります。どちらもみなさん汗だくの作業、大変お疲れ様でした。

植えた後の管理が大事

この写真はドローンで撮影したものです。田んぼの中に所々、穴が開いたように見えます。微妙な水の管理などでこうしたことになるとのこと。簡単なものではないようです。



少し高いところから見ると

自治会緊急連絡網にご参加ください



メールの場合は左上のQRコード

LINEの場合は右下のQRコード

